

## 「海の日記念」第12回相模湾 江ノ島・葉山ヨットラリー

2016年7月18日:江ノ島ヨットハーバー

### 帆走指示書 (ヨット種目:江ノ島会場)

#### 1) 適用規則

本レガッタは、国際セーリング競技規則(2013~2016)、日本セーリング連盟規程およびこの帆走指示書を適用する。

#### 2) 参加資格

レース公示による。

#### 3) 参加者への通告

参加者に対する通告は、大会本部(2階大会議室)に設けられたレガッタの公式掲示板に掲載されるか、又は艇長会議の際に通告する。

#### 4) 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、艇長会議以前に大会本部掲示板に掲示し、艇長会議の際に通告する。

#### 5) 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発する信号は、08:00~17:00の間にクラブハウス2階テラスのフラッグポールに掲揚される。

5.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号AP中の「1分後」を「20分以降」と置き換える。

#### 6) レース日程は次の通りとする。(実施:1レース)

艇長会議(2階大会議室)	09:30	
レーススタート予告信号		10:55 (第2グループ)
		11:05 (第1グループ)
		11:15 (第3グループ)
表彰式(予定)		15:00 (予定)

#### 7) グループ旗

第1グループ	:	赤色旗	(YN86以下の艇 高速艇)
第2グループ	:	青色旗	(YN109~87の艇 シングルハンド、普通、トラピーズ艇の一部)
第3グループ	:	黄色旗	(YN110以上の艇)

各グループはレース委員会支給のグループ別リボンをセールのピークに取り付けなければならない。

第3グループ(YN110以上の艇種)は、中間のゲートマーク(ピンクの円錐形)を時計回りに回航して江の島へもどる。

#### 8) レースエリア

レースエリアは「A海面」から鎌倉・逗子・葉山沖とする。

#### 9) コース (コース図参照)

- 江の島沖スタートラインから、風上500m程度に第1マークを設置する。葉山沖に第2マーク(回航マーク)を設置する。中間ゲート(稲村沖)は第1マークと第2マークを結んだ線上の中間点に設置される。第1マーク回航し葉山方面に向かい、必ずゲート(1隻の運営艇とマークの間)を通過してから葉山の第2マークへ向かう事。
- 第1マークとゲートの間、およびゲートと第2マークの間に各々2箇所にコース方向を示すオレンジ色の案内ブイを等間隔で設置する(案内ブイの間隔および形状はコース図を参照)
- 葉山の第2マーク回航後は江ノ島方面へ向かい、必ずゲートを通過して江ノ島沖の第1マークを回航し、スタートした位置に設置されたフィニッシュラインへ戻る。
- 風向により、第1マーク回航は「時計周り」或は「反時計回り」になる。回航方向はスタート時に本部艇に示される。第2マーク回航は、「反時計回り」である。
- コースの短縮は次の要領で行う
  - 第2グループがスタート後から50分間経過後にゲートボートにL旗を掲揚した場合は、ゲートより葉山側にコースを閉じた事を意味し、この時点でゲートへ達していない艇は、ゲートの一端のマーク(ピンクの帯)を反時計回りに回航して江ノ島の1マークへ方向へ戻り、1マークを回航してフィニッシュラインへ戻る事。
  - 風速によって、葉山の第2マーク回航後の帰路のゲートでフィニッシュを取ることもある。この場合、ゲートの運営艇にS旗を掲揚する。

#### 10) マーク

江の島沖の第1マーク、葉山沖の第2マーク及びゲート端のマークは**ピンク色の長い円錐形**のブイである。1マークとゲートの間および、ゲートと2マークの間に設置されるコース方向を示す案内ブイはオレンジ色の円筒形である。案内ブイは1kmの間隔で設置されている。

ゲートマークで折返しの艇種(第3グループ及びアクセスディンギー)は、ゲートを越えてゲート端のピンク色のマークを回航して江の島方位面に戻る。

#### 11) スタート

- スタートはレース・コミッティーボートのオレンジ色の旗を掲げたポールとアウターマーク(ピンク色の円錐形)の間とする。スタートおよびリコール信号は、スターボードの端となるレース・コミッティーボートから

発せられる。

- ② レースは、規則 26 に従いスタートする。
- |               |                                    |        |
|---------------|------------------------------------|--------|
| 予告信号掲揚 (5 分前) | <b>グループ旗(掲揚)</b>                   | 音響 1 声 |
| 準備信号掲揚 (4 分前) | <b>P 旗または I 旗または U 旗あるいは黒旗(掲揚)</b> | 音響 1 声 |
| 準備信号降下 (1 分前) | <b>P 旗または I 旗または U 旗あるいは黒旗(降下)</b> | 音声 1 声 |
| スタート          | <b>グループ旗 (降下)</b>                  | 音響 1 声 |
- ③ 準備信号がまだ発せられない艇は、スタート・エリアから離れ、準備信号が発せられたすべての艇を避けなければならない。
- ④ スタート信号から 9 分以内にスタートできなかった艇は DNS とされる。

## 12) リコール

- ① リコールの場合には、『X 旗』が音響 1 声と共に揚げられる。スタート信号から 9 分以内に正しいスタートできなかったヨットは、OCS とみなされ、**13) 項の 5%ペナルティを所要時間に加えられる。**
- ② ゼネラルリコールは第 1 代表旗が音響 2 声と共に揚げられる。この信号が発せられた時には、新しい予告信号は第 1 代表旗が降下した 1 分後に音響信号 1 声と共に揚げられる。

## 13) 5%ペナルティの実施

リコールを解消しない艇 (OCS) に対しては、フィニッシュした所要時間に対し、5%の時間をペナルティとして加えた時間で修正時間を計算する。

## 14) フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、オレンジマークとレース・コミッティーボートのオレンジ旗を揚げたポールの間とする。フィニッシュ・ラインを設定するコミッティーボートは青色旗を揚げる。フィニッシュは 1 マークの方向からフィニッシュラインを横切る事。

## 15) タイムリミット

タイムリミットは**第 3 グループスタート後 160 分**とする。それ以前にスタートしたグループのタイムリミットは第 3 グループのタイムリミット時刻と同一になる (本レースは艇速の異なる艇が参加するオープンレースにより第 35 条の適用を修正する)

## 16) レース中止、再レース

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| ① レースの中止再レース (海上待機) | N 旗と音響信号 3 声       |
| ② レースの中止陸上にて次の指示    | N 旗と H 旗と音響信号 3 声  |
| ③ レースの延期陸上にて次の指示    | AP 旗と H 旗と音響信号 3 声 |

## 17) 抗議

抗議は大会本部で入手し得る書式に記入し、最終艇がフィニッシュ後 1 時間以内に大会本部に提出しなければならない。

## 18) 得点

- ① 各ヨットの順位はレース所要時間をヤードスティックナンバーで除した修正時間により決定する。各ヨットのヤードスティックナンバーは別に掲示する。
- ② 同一修正時間のヨットは、ヤードスティックナンバーの大きい方のヨットが上位とする。
- ③ コース短縮をされた艇は走行距離で修正してから修正時間を算出する (ゲートマークを通過しない艇は順位の対象にならない)

## 19) 失格に代わる罰則

競技規則 44.1. 44.2 (720 度回転の罰則) を適用する。

## 20) 帰着の確認

出艇、帰着申告書の記入により、出艇及び帰着を確認する。

## 21) 賞

ヤードスティックナンバーで修正時間による順位で総合成績第 1 位から第 8 位までのディンギーに賞が与えられる。

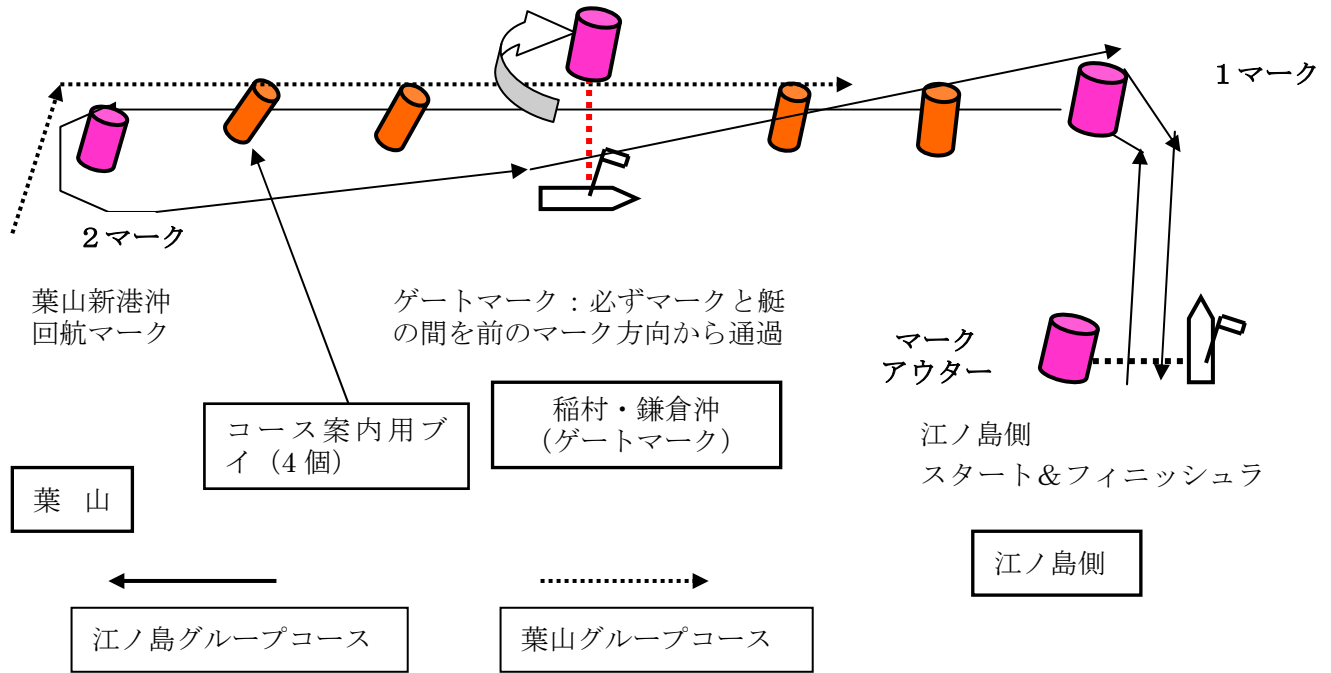
## 22) 安全

- (1) ライフジャケットはハーバーより出港し帰着するまで必ず着用していなければならない。
- (2) 同一コースで異なる艇種が走行している故に、海上衝突防止法に基づく航路の優先権は絶対に遵守すること。
- (3) 安全に関する一切の責任は、各参加者に有り、レース委員会の故意、又は作為による事故以外はレース委員会には責任を負わない。またレスキュー活動は人命救助を目的とするため、艇体を放棄することもある。安全の立場から、レース委員会の判断でレースを中止することも有る。
- (4) コース中にある**障害物 (定置網、蛸壺、刺し網) 等**は各艇の判断で回避する事。

## 23) 環境

レースの参加者は、日本セーリング連盟の環境クリーンキャンペーンに協力し、ゴミは持ち帰り、海を汚さないようにお願いします。

## 2014年江ノ島・葉山ヨットラリー (ヨットコース図)



### レースコースの説明

- 1マークは江ノ島A海面の沖に設置
- 2マークは葉山新港の入り口岸壁の沖に設置 (1マークと2マークの距離は約6km)
- 1マークと2マークの中間点にゲートを設置、マークと1隻のクルーザーの間がゲート。
- 1マークとゲート、ゲートと2マークまでの間に、各々2個のコース案内用ブイを設置 (各マーク間は約1km)
- マーク用ブイはピンクの長い円錐形、案内ブイはオレンジの長い円筒形
- 参加艇は往復とも必ずゲートを通過すること。
- タイムリミット最後グループのスタートから2時間40分とし、最後のスタートグループスタート後、50分経過後にゲートボートにL旗を掲揚する。それ以後ゲートに達した全ての艇は、コース短縮の扱いとなりゲートマークを通過後、マークを回航して江ノ島側のフィニッシュマークへ戻る (これらの艇は修正時間は帆走距離を考慮して順位を算出される)
- 風速により、葉山の3マーク回航後、ゲートでコース短縮する事もある。
- マークの回航は反時計まわり (但し、スタート時に北方向の風の場合、第1マークの回航は時計回りになる)。ただし、ゲートで折るかえす艇種は時計回りでマークを回航すること。
- ヤードスティックナンバー110以上の艇種は、中間地点のゲートをマークを回航して戻ること。(中間回航マークで折り返しです)
- 中間ゲートの運営艇はピンクの旗をマストに掲げている。1マーク、2マーク付近の運営艇も目標となる様にピンクの旗を掲げている。
- ゲートボートの掲げるL旗を示す。



L旗 (黄色・黒色)